



元気いっぱい！ 苺っポー



3月

No. 223

令和6年3月21日

夢と希望に向かって
努力する子ども

友達と仲良く
助け合う子ども

約束や決まりを守り
あいさつする子ども

すべては子どもたちのために！

早いもので、本年度も残すところ、あと1日となりました。
本年度の終わりにあたり、例年同様、自戒をこめて、次の詩を紹介します。
ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、教育学者の東井義雄氏の詩の一節です。

川は岸のために
流れているのではない
川のために岸ができているのである

子どもは
学校のために来ているのではない
子どものために
学校があるのである

子どもは
教師のために生まれてきたのではない
子どものために
教師ができたのだ



改めて、先人の深い洞察と示唆に富んだ表現に身が引き締まる思いです。
学校の全ての教育活動も、教師という存在も、全て子どもたちのためにあるのです。
だから、私たちは全ての教育活動において、常に子どもの立場に立って考えなければなら
ないと思います。

この1年、荻田小学校の子どもたちは、どの子も成長しました。子どもたち一人一人には、
がんばったこと、できるようになったことがたくさんあるはずです。

「こんなことはできて当たり前」ととらえるのではなく「こんなことができるようになったんだね」と、どんな小さなことでも認め、褒めてあげることが自信をもたせることにつな
がります。

自信は次への意欲につながり、自分自身を大切に思う心にもつながるはずです。